

-- NINS Symposium ----- 2013/02/22 発行 第 009 号 -----

第 14 回自然科学研究機構シンポジウムにつきまして、参加の申込受付を開始いたしましたのでお知らせいたします。講演の趣旨と内容につきましては、最新情報をご覧ください。

なお、岡崎コンファレンスセンターにおける中継を実施いたしますので、東海地区の皆様も是非、岡崎に足をお運び頂けますよう、よろしくお願いいたします。

-----  
□ 第 14 回シンポジウム最新情報 ■  
-----

[http://www.nins.jp/public\\_information/sympo14.php](http://www.nins.jp/public_information/sympo14.php)

日時：平成 25 年 3 月 20 日（水：祝日）10:00～17:35（予定）

場所：学術総合センター（一橋講堂）【旧 一橋記念講堂】

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F

中継会場：岡崎コンファレンスセンター

愛知県岡崎市明大寺町字伝馬 8-1

テーマ：分子が拓くグリーン未来

趣旨：

現在の社会構造・産業構造が持続していけば、近い将来の大きな社会問題として、化石燃料や希少金属資源が枯渇することが考えられる。これらの問題の解決策として、『分子科学』を用いた、持続可能なエネルギーの供給、希少元素に依存しない多様な機能材料の開発、環境調和型化学プロセスの開発などが挙げられる。

本シンポジウムでは、まず、持続可能なエネルギーとして「光」を利用する人工光合成と薄膜太陽電池にスポットを当てる。加えて、様々なエネルギーの貯蔵や希少元素を消費しない新しい環境調和型化学プロセスにおける分子化学的アプローチを紹介する。

ご講演：（ご講演予定順）

Keynote Lecture：人工光合成の現状と展望

福住俊一先生（大阪大学）

植物のデザインに学ぶ人工光合成－金属錯体による酸素発生反応

正岡重行先生（分子科学研究所）

規則性ナノ空間で拓く未来材料

植村卓史先生（京都大学）

有機薄膜太陽電池の現状と将来

平本昌宏先生（分子科学研究所）

ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法は誕生するのか？

西林仁昭先生（東京大学）

グリーンイノベーションと革新電池とのつながり

射場英紀先生（トヨタ自動車株式会社）

グリーン化学合成研究の最先端

魚住泰広先生（分子科学研究所）

Keynote Lecture : 夢を持ち続けよう！

－ d-block 遷移金属触媒が 21 世紀を救う

根岸英一先生 (科学技術振興機構, 米国 パデュー大学)

特別対談 : 根岸英一先生・立花隆先生

-----  
□ 各機関最近のプレスリリース等 ■  
-----

【国立天文台】

- ・ すばる望遠鏡、遠方銀河核からのアウトフローの立体視に挑戦  
平成 25 年 2 月 19 日

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2013/20130219-subaru.html>

【核融合科学研究所】

- ・ FM ラジオの周波数帯の電磁波が切り拓くプラズマ加熱の世界  
平成 25 年 2 月 18 日

[http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo\\_197.html](http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_197.html)

【基礎生物学研究所】

- ・ マウス初期胚におけるダイナミックかつ左右非対称なカルシウムシグナルを発見  
平成 25 年 2 月 18 日

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2013/02/18.html>

【生理学研究所】

- ・ 統合失調症に似た特徴を持つ遺伝子改変マウスを確立  
平成 25 年 2 月 6 日

<http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2013/02/post-235.html>

【分子科学研究所】

- ・ MnNi 合金のインバー／逆インバー特性の起源を解明  
平成 25 年 2 月 6 日

<http://www.ims.ac.jp/topics/2012/130206.html>

-----  
編集後記  
-----

遅くなってしまいましたが、やっとのことで第 14 回シンポジウムの申請受付を開始いたしました。趣旨にもあります通り、グリーンでクリーンな未来を切り拓くには、分子科学の力が非常に重要な働きをするのだと思います。是非この機会に分子科学研究の最先端を覗いてみてはいかがでしょうか。

講演者の先生方は一流な方ばかりですが、なかでも人工光合成の世界的な第一人者である、大阪大学の福住先生、ならびに元素の特性を縦横に司る米国パデュー大学の根岸先生には Keynote Lecture をお願いしておりますので、たっぴりとその世界をご堪能下さい。

-----  
自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン

発行システム : 『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

○配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから  
<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

○ご意見は以下までお願いします  
[sympo@nins.jp](mailto:sympo@nins.jp)

---

発行者：自然科学研究機構

<http://www.nins.jp/>

Copyright(C)2013 NINS All rights reserved.

---